

539-N773㊦



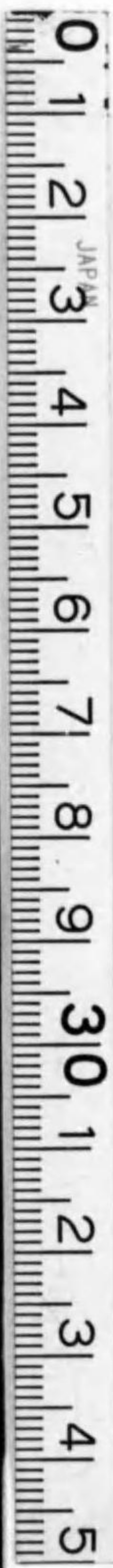
1200500745936

1973

現下輸送問題より觀たる自動車工業の現況

鈴木六康等著

始



96
40

昭和十九年七月

現下輸送問題より觀たる自動車工業の現況

自動車統制會長 鈴木重康氏述

ヂーゼル自動車工業社長 林桂氏述

帝國自動車工業社長 大町北造氏述

納本

日本經濟聯盟會

539
N773

例
言

現下の輸送問題に占むる自動車工業の役割は最近頃はその重要性を加へつゝあるに鑑み當會時局對策調査委員會に於ては、去る五月十六日、日本工業俱樂部に自動車統制會會長鈴木重康氏、ヂーゼル自動車工業株式會社社長林桂氏並に帝國自動車工業株式會社社長大町北造氏の御出席を煩はし夫々當業者としての立場より自動車工業の現況につき詳細なる御説明を聽取した。本篇はその速記録である。尙ほ數字はこれを一切伏することにした。

昭和十九年七月

日本經濟聯盟會



967
400

現下輸送問題より觀たる自動車工業の現況

目次

例言

高島常務理事の挨拶……………一

(一) 鈴木自動車統制會會長の説明……………一

イ、現下輸送問題より觀たる自動車の地位……………二

ロ、自動車の實動狀況……………三

ハ、自動車修理工業の現況……………五

ニ、自動車修理部品に就て……………七

ホ、自動車部品工業の現況……………一二

ヘ、自動車工業對策の目標……………一七

ト、質疑 應 答……………

一九

(二) 林チーゼル自動車工業社長の説明……………

二四

イ、自動車工業の重要性の再認識……………

二四

ロ、自動車用燃料の問題……………

二七

(三) 大町帝國自動車工業社長の説明……………

二八

イ、自動車行政一元化の必要……………

二九

ロ、自動車工業強化の途……………

二九

ハ、質疑 應 答……………

三二

以 上

現下輸送問題より觀たる自動車工業の現況

高島常務理事の挨拶

今日は委員長が突然差支へましてお見えになりませぬので、私が代りまして御挨拶申し上げます。この間生産擴充委員會の委員である大町さんから、國民の生活の面から考へまして自動車の問題が非常に重要であつて、前途中々樂觀を許さない。そこで經濟聯盟の偉い方々にこの問題の解決に御協力願ふといふ意味で先づ當業者より自動車工業に關する基礎的な話を一つ聽いて呉れないかといふやうな御希望がありましたので、この會を催して皆様に聽いて戴くことに致した次第であります。本日は自動車統制會の鈴木さん、チーゼル自動車の林さん及び帝國自動車の大町さんが揃つて御見えになつておりますが、委員の方々も自動車の問題では困つて居られる筈ですからよく聽いておかなければならぬ問題ではないかと思ひます。先づ鈴木會長からお話をお願いし度いと存じます。

(一) 鈴木自動車統制會會長の説明

只今御紹介に預かりました鈴木でございます。現下の輸送問題より見たる自動車工業の現況といふことについて卑見を申し上げます。自動車の現況を御認識願ひたいと思ひます。この種問題についてよく御存じのお方を前にして詰らぬことを申し上げますのはどうかと思ひますが、順序上現下の輸送問題から見たる自動車の地位はどういふやうになつて居るかといふことを申し上げます。今申し上げますことは主としてトラックに關することを申し上げます。バスとか乗用車は第二義といふ工合にお考へを願ひます。

イ、現下輸送問題より觀たる自動車の地位

大體自動車と荷車の輸送の比率といふことになりますと、自動車の方が少うございまして荷車の方が多い。これは常識的に考へまして四對六位になつて居るだらうと思ひます。併し物を運ぶ距離、かういふ總輸送の比率から言ひますと、自動車と荷車は比較にならぬものでありまして、現在に於きましては八に對する一といふやうな比率になつて居ります。そこで陸運の小運送といふ面から見まして自動車が如何に重要であるかといふことはこれだけでも學問上説明が出来るのであります。のみならず御承知の如く荷車は大體三キロ以内、輸送費になりますとトン當りに比べまして六、七倍の相違

があるといふやうな情勢になつて居るのであります。かういふ輸送問題から見ました重要な自動車の地位を、重要産業として國家はどう見て居るかといふやうな工合に考へて見ますと、無論今日は餘り言はれませぬけれども、五大重點産業から落伍して居る。汽車の車輛問題は五大重點産業に準ずるといふ取扱を受けて居るけれども、自動車はその取扱を受けて居らぬ、かういふのが大體現下の輸送問題から見た所の自動車の地位であります。

ロ、自動車の實動状態

一體さういふやうな自動車の状況はどうなつて居るか、車を修理する修理工業の状態はどうなつて居るか、さういふことについて一應申上げて見たいと思ひます。車の年齢はこの戰の起る前に於きましては大體四年弱程度のものであります。現在は平均六年半といふやうな事になつて居ります。その内で七年以上のものが三五%、五年以上のものが五五%、大體さういふやうな數になつて居ります。ガソリン時代でも大體車輛の更新は七年、年齢が七年経つたものは老朽車といふ工合に見て居るのであります。代燃になりますと車輛が益々痛んで來る。そこで代燃は大體五年といふやうな工合に車輛を見るのが普通なのであります。この五年、七年といふやうな年齢を考へて見ますと、もう半分の車

は老朽に達して居る。況やその三五%の如きは七年以上になつて居りますから、非常に古いものであるといふやうに一應は言へるのです。さうでありますから今日トラックの數量は或る數量に達して居りますけれども、その内の〇〇%は使用不可能な状態であります。名前は車があることになつて居りますが、これは使へない。残りの〇〇%が使へる。ところがこの〇〇%の内には或は蓄電池がないとか或はその他の部品がないとかいつた關係で全部は使つて居らぬのであります。殊に御承知の如くトラック業者の統合を行ひまして、どうせ統合されるならば餘り修繕をして置かない方が宜からう、どうせ賣れる値段は同じだ、かういふやうな思想もあつたのでありませう。相當車輛が痛んで居ります。大體の見當は實動車輛〇〇%、併し〇〇%全部が動いて居りませぬので、その内の一部は豫備になつて或は修理工場に入つて居るとかいふやうなことがありますので、本當に動いて居るのは尙ほそれ以下である、かういふのが大體車の實動状況であります。

それから車はどういふ工合に使はれて居るかといふことになりますと、御承知の如く今迄外國車が日本の自動車界を支配して居つた。それが昭和十三年位の所で大體お終ひであります。昭和十一年から御承知の如く日産、トヨタの兩社が自動車製造事業法に依りまして許可會社になりました、國產車が賣出されたのが支那事變が発生しました昭和十二年、この時分の車といふのはよた／＼でありまし

たけれども、兎に角その頃から賣出されて居る。それからずつと造られて居る車の状況を見ますと、大體今日に於ける所のトラックの保有臺數の〇割に相當するものが毎年造られて居るのであります。無論バスや乗用車につきましてはそんな巧い譯には行つて居りませぬので、バスなんかはお話になりませぬ。乗用車は無論出來て居りますけれども、これは軍需だけでございまして民間には殆どないといふやうな景況であります。かういふやうな状態でありまますから、現在の保有車輛をもちまして、假にこれを今年豫定の如く〇割だけ造つたものとすることになりますと、更新は〇年以上掛かる。ところが先刻申しました如くガソリンですら七年、代燃車では五年の時期を以て老朽車に達し居る。かういふ工合に考へなければならぬ状態でありますのを、現在のやうな更新計畫で行けば〇年以上も掛かる。さうすれば車が悪くなることは申す迄もありません。ところが今日の車ですら足らぬといふのでありますから現在の古い車を活かして尙數量を増加せんといふやうな工合に考へる場合に於ては、現在の車をよく修理するより外に方法がない、かういふやうな車輛の状況になつて居るのであります。

ハ、自動車修理工業の現状

それでは修理工場や修理工の状況はどうなつて居るかといふことを一應申し上げますと、全國の修理

工場数は、大體日本内地に於きましては〇〇軒程あるのであります。その内に五十坪以上、修理工員十五人以上といふやうなものが五分の一でありまして、そのあとの五分の四は一軒に修理工員二人か三人だけ、店を持つて居るけれども工具箱を擔いで行つて車を修理する、かういふ修理工場であります。修理工員は今約〇萬人居るのでございますけれども、この〇萬人といふ數字は、現在政府が動かさうと思ふ所のトラックの車を修理するには計算上適當なる數でありまして、その他旅客車、乗用車、特殊車、さういふものがあることを考へますと、修理工員は大體〇萬人位不足になつて居る。これは計算に依りまして違ふのであります。アメリカのデータとか色々な所から言ひますればもつと少くて宜いのであります。日本が現在やつて居る所に於きましては、今日の修理工員の能力は百臺について四十五人、かういふ目算を一應私は立て、居るのであります。これは見方に依りまして色々違ひますが、これを以て多いといふ人もありますし、少い、もう少し豫備を見込まなければいけないといふやうな人もありますが、大體この位の程度を一應の規準と見て居るのであります。

然らばこれ等の修理工員に對しまして政府は何等かの援助をして居るかといふことになりまして、あの自動車の下へ潜つて働かなければならぬ所の修理工員に與へる作業衣は殆ど呉れませぬ。食事の増配もなければ、又今申上げましたやうな五十坪、十五人といふやうな修理工場が僅かに全體の五分

の一しかないといふやうな状態では、厚生施設等もあるべき筈はない。唯その割合に移動率が少いのです。我々の見込では減員率は二・二%と見て居ります。これはなせあゝいふ貧弱な工業をして居つて移動率が少いかと申しますと殆ど全部親分、子分の關係で仕事をして居るからであります。親子關係が移動率を少くして居るといふ工合に見られるのであります。若しも親分、子分の關係が特殊の状態になつた場合に於てはこの移動率は當然もつと増加をするものであります。大體修理工場及び修理工員の状況は今申しましたやうな工合に一應は見られるのであります。かういふやうな貧弱な修理工場と、かういふやうな少い修理工員を以てしては、今申しましたやうな自動車を巧く直して行くことが到底出来ないことは、只今の數を申上げただけで御諒解になるかと存せられます。

二、自動車修理部品に就て

次いで、自動車の修理と申しますれば、直ぐ修理用の部分品が頭に浮んで來る譯であります。そこでトラック一臺の修理費は幾ら掛かるかといふことが當然生れて來る問題であります。どうも自動車界はかういふやうな統計が中々出て居らぬのであります。殊にトラックは今迄大きい會社として仕事をして居つたのは殆ど日本通運以外にはありません。あとは皆トラックが二臺か三臺位のものであり

ますから正確なる統計は今申上げる迄には参りませぬが、近頃出来上りました会社に於きましてはばつ／＼統計を以て仕事をして居る所もある。そこで近頃出来上りました所のトラック會社の統計の一二を見ますと、先刻申しました如く會社を作る迄に修理を要する車を持つて来て會社の運用をして居るといふやうな状態でありますからして、修理費が相當嵩んで來るといふことは言へるでありますが、今申しました二、三の統計を以て全面的にその通りであるといふことは言へぬのでありますが、一つのトラック會社の統計に依りますと、大體一日一臺十圓といふやうな統計が出て居るのであります。さうしますと修理費が一年に一臺三千六百圓、ところが修理工賃と部品は大體半々といふのが一般の常識でありますから、三千六百圓の半分の千八百圓が部品といふことになる。更に千八百圓の部品の内譯を見ますと、代燃の爲に六百圓、その他の修理用部品の爲に千二百圓、一應かういふやうな工合に踏むことが出来るかと思ひます。この千二百圓は見方に依つて多いといふやうな人もあります。各府縣に部品を配給して居る地方自動車整備配給會社がありますが、さういふ方面からの見方は大體千圓位ではないかといふやうな工合に申して居ります。千圓と申し千二百圓と申し大體千圓見當といふのが、一臺一年の自動車の部品の小賣價格になる。そこで先づ大體この數を基礎にして、現在の實動可能であります所の自動車の數と掛合して見ますと、一年間の一臺の自動車の部分

品の値段は○千五百萬圓から○千萬圓、大體かういふことが言へると思ふのであります。

然らば政府はこれだけの修理用部分品に對して、物動上どれだけの資材を割當て居るかといふ問題になりますと、昭和十八年度に於きましては割當金額は○千萬圓に達しないのであります。だから十八年度假に資材の打切りといふやうなことを考へませぬ、政府の呉れたものを丸々造り得たとしましても○千萬圓、これは小賣のマーシンを含んで居りませぬからもう少し殖える譯です。そこで實際どうして居るかと言ひますと、そんなものではどうもいけませぬから、脇に出所不明なる所の資材で以て造つた部品があるので。詰り闇の資材で部品を造る。それを又商賣にして集めて居る問屋があります。これが協力會といふ團體を結んで仕事をして居りますから、我々もそれを協力者と言つて居ります。その製品に對し一般には市場在庫品といふやうな名稱を付けて居ります。即ち不正規の資材でありますから、特殊鋼を使ふ所に普通鋼が使つてあるかも知りませぬ。要するに恰好、形が出来て居れば宜いといふやうな随分ひどいものもあります。それで以て残りの部品を間に合せる。これも今申しました如く十分に集める譯にいかぬ。出て來たもの勝負といふことでありましてさういふものが大體集荷機關である所の日本自動車配給株式會社に於て○千萬圓、都合○千萬圓位のもが部品としては集まつて來ることになるのであります。この○千萬圓といふのは小賣の最終販賣價格で言ひ

ますと〇千二百萬圓程になる。この數字だけを見ますと修理用の部分品は一應問題は解決出来るやうに見えるのであります。

しかし其内容を詳細に検討致しますと、この金額の部品は内地用以外のものに相當使用せられて居ります。先づ第一は軍の車輛の修理であります。軍は自分に必要のものは自分で注文する、従つて日本内地の自分の修理工場で直すものは自分の所の部品で直しますけれども、自分の所の修理工場に合はぬ時は、これを市井の修理工場へ持つて行く、然し市井の修理工場では手持の部品がなく、その上修理は急がねばならぬので勢ひ市井の修理工場では民需用の〇千萬圓の内から部品を出すのであります。一體軍の車輛がどれ程民需用の部品を取つて居るだらうかこれは正確な數字は分りませぬが昨年に於きまして全國の配給會社の修理工場で、軍に融通をしました部品は約〇〇萬圓であります。東京都だけで〇〇萬圓小賣商が出て居る。さうするとこの〇千萬圓の中から〇〇百萬圓が軍の需要を充して居るのであります。

それから第三國の部品、これは御承知の如く部品工場もありませぬので、日本の内地で造つて居るのであります。この輸出の額は決まつて居る。輸出總額中政府が認める物動の指數は極く僅かで、此處で申上げるのはお恥かしいから申上げませぬが、その位の程度しか割當て居りませぬ。さうする

と残りのものは今申した市場在庫品に頼つて居る。ところが日本内地ですら足らぬ所の部品でありますから、さう外國へ餘計出せない。十八年度に於きましては〇〇萬圓の部品を市場在庫品として出しても宜いといふことを政府が許可をして居るのですが、外國の車は非常に痛んで居りますからして到底〇〇萬圓位の修理部品では足る筈はありませぬ。そこで内地の中で巧く闇を潜つて持つて行けるものは外國へ出すといふ極端な話でありますから、今足らぬと言はれて居ります。點火栓なんかは幾らするのでありますか、一圓五、六十錢か二圓位のものだらうと思ひますが、これを上海へ持つて行くと三十圓もする。あゝいふ小さい點火栓でありますから、小さい鞆へ一鞆持つて行けば上海へ往復する位の旅費は出る。かういふやうな景況になつて居りますから、これが相當に横流れをする。集めた〇〇萬圓の部品は金額から言へば大體の必要の數量に達して居りますが、政府が受持つて居る資材が今申しました〇〇萬圓、これは本當の部品でありまして、あとは儲かるものは造つて出すが儲かるぬものは造らぬ。或は造つても非常な粗悪品を製造して政府の決めた所の價格に依つて物を賣るといふやうな譯でありますから、重要部品は足らぬのが當り前である。併して値が宜いものは外國に横流れをする。かういふやうな景況になつて居りますから、修理工場は貧弱であり修理工具は足りない。部品が不足である。車は古くなつて居るけれども更新が巧く行かない、更新どころぢやない、それが

増加しようと掛かつて居る。而も部品及修理の状況は今言つたやうな状態になつて居ります。これが現在の自動車及び修理工業の概要であります。

ホ、自動車部品工業の状況

次は、今後自動車や修理用の部分品の製造の動向はどういふ工合に行くだらうか、又修理に關する育成の状態はどういふ工合に進むだらうかといふやうな事について申上げたいと思ふのであります。先刻も申しました如く本邦の大衆的國產自動車はこの支那事變から出來上つて居るのであります。さうしてこれはその時分に於ける所の兎に角流行工業でありまして、大體昭和十四年以降は殆ど政府が要求し又我々が考へて居つた所の數量は出來て居ります。工場設備、工場能力は不十分であるかも知れんけれども、兎に角やらうと思ふものはやつて居る。それが昭和十六年迄は大體一〇〇%、場合に依りましては一〇〇%以上の製造高を上げて居る時代もありました。ところが大東亞戦争が起りましてその翌年の昭和十七年になりますと既に一〇〇%を割つて居る。けれどもこれは非常に僅少なものでありまして、割らぬといつても宜い程度のものであります。十八年度になりますと俄然これが六五%に落ちて居る。今日の情勢を見ますと十九年度は尙ほ落ちるんぢやないかといふやうな氣がする

のであります。一方近頃は輸送の隘路といふやうなことがありますので、政府に對しまして車の配給を要求して來て居るのは相當なものでありまして、その政府ヘトラックを要求して居る要求量に對しまして、本年は物動はその〇〇%を與へることが出来る。これは與へようと思へばまだ與へられると思ひますが、恐らく色々の關係、他の事情に依りまして先づこれ位しか與へられませぬ。そこで若しも十九年度の車の生産狀況がもつと低下するものとして、假に〇〇%といふことになれば、車の配給要求高の〇割〇分しか自動車は出來ない。かういふやうなことになる傾向であります。

修理の部分品は只今申しました如く非常に少いものであります。殊に外國車の部品は、車が非常に多に拘らず少いのでこれの補充は市場在庫品に據らねばなりません。外國車部品に於て足りぬものは資材的に見ましたならば特殊銅關係のもの鍛造關係のものであります。今迄は銑鐵のものは相當出來て居りましたけれども、銑鐵需給の不足の時代でありますから、恐らく今後はかういふものも減るだらうと見て居ります。なせ外國車部品がそんなに出ぬか。これは陸軍が昭和十七年でもう外國車は切られてしまふんだといふことを曾て聲明したことがあります。そこで外國の自動車は十七年度で止めるものなら、輸入も杜絶するしあゝいふものに手を出して居つたら工合が悪いから手を引かう、かういふものが業者の意向であります。その結果今のやうな事になつて居ります。ところが十七年ど

ころか今日でも部品さへあれば外國車はうんと動く。今假に部品がなくても外國車を潰すといふやうなことは出来るものではありませぬ。どうしても外國車部分品は造らねばならぬ、といふやうな状態であります。その點國產車はまだ外國車より宜いのであります。併し特殊關係或は鍛造關係、殊にパイプ類といふやうな方面に於ける資材が不足して居る。又設備能力に於きましては齒車でありますとか鍛造品方面に於て不足を來して居るといふやうな状態であります。それでありますから部品が思ふ通り入つて來ない。十七年の殆ど全部と十八年度と兩年間に於て、部品の集荷機關であります所の日本自動車配給株式會社が發註を致しました所の金高は〇千八百萬圓であります。その内で納入されたものは僅かに〇千七百萬圓といふやうな状態になつて居ります。勿論發註した中には一部キャンセルされたものもあるのですが、要するに半分は入つて居らぬ、半分入つて居らぬのはどういふ譯か、業者の熱意が逐次減つて來て居る、簡單に言へばさういふやうな譯であります。

そこで今のやうな自動車の車輛、自動車の修理用の部分品が出来ない原因を探して見ますと、結局車を造る親會社、言葉を換へますればトヨタであり、日産であり、ダイセル社であります。かういふ所は車を造らうと努力されて居るのでありますが、自動車製造といふものが綜合工業でありまして、澤山の協力工場を持つて仕事をして居る、その協力工場が自動車製造に對する興味を減ずるといふ所

に一番原因を持つて居ります。

それならどういふ點に於て興味を減ずるかと申しますと、資材の點と勞務の點と價格の點であります。自動車に食ひ付いて居つては資材も呉れない。副資材も貰へない、さうして工具はおまけに徵用をされる。自動車と殆ど類似の工業である所の飛行機の値段と比べると六、七倍違ふ、只今お手許に差上げた書類には七倍半になつて居ります。それでは食ひ付けぬのが當り前であります。日本の自動車界の殆ど二分の一位を支配して居る日産の如きは、今日工具が足らぬものですから學徒を入れて居ります。書生さんや女學生、素人工が昔居つた工員の三分の一も占めてゐる。直接工員のみ關係で計算しますと二對一位の所に行つて居ります。それ程勞務者は減つて居ります。親工場はそれだけ減つて居れば、その協力工場はどういふやうな状態になつて居るかといふことは大抵御想像が付くだらうと思ひます。

その次は、只今申しました自動車の協力工場の能力を逐次兵器關係が取つて行くのであります。協力工場を或る程度動かして初めて親工場の組立が出来るのに、その協力工場の能力を兵器關係即ち軍需工場に取らるのでありますから、車が足らぬ様になり思ふ様に製造出来ぬのは當り前であります。そこで十六年迄一〇〇%若くはそれ以上、十七年度は一〇〇%に近いものが出来たものが、十八年度

になりますと六五%になつた所以が明瞭になつたであらうと思ふのであります。

補修用部分品の関係も大同小異であります。

結局部品業者が自動車工業から離脱するといふことが車を修理する上に於きましても、車を造る上に於きましても物が足りないといふやうなことになる、その結果は修理が出来ぬ。車が造れない、かういふことになる譯であります。

扱て修理に就ては御承知の如く政府の機構變更の結果運輸通信省に自動車局が出来まして、小運送の重大性を認識し地方廳に輸送課を作りまして、自動車の輸送に關する一切の問題はそこで兎に角やつて行かう。従ひまして修理に關すること、修理工に關すること、又は修理工業に關することは一切輸送課でやつて行くことになりました。修理工員も養成しよう、修理工場も整備をしよう、計畫修理に徹底しよう、これが爲には整備統制組合を作りまして、これは統制會の直接會員にする、さうしてこれを強化育成して充分活躍せしめやうといふやうな工合に、一生懸命やつて居ります。近く成果を見る事が出来るのではないかと期待し、及ばず乍ら統制會としても之に協力致して居る次第であります。

へ、自動車工業對策の目標

大體かういふやうな工合に申し上げますと、今後自動車はどう行つたら宜しいかといふことの對策は自ら決まるのであります。ところが政府は、その時々には於て必要なことをおやりになります。でありますから修理が必要であるといふやうなことで、末端の修理工場をどうするか、工員をどうするか、その教育をどうするかといふことについてはおやりになります、これを煎じ詰めて根本的に考へて見ますと、輸送直接の問題は別として、苟くも自動車を造つて行きました輸送増強に供するといふ爲には部品を造らなければなりません。修理をやるといふことを考ふる様になりますと、部品を造るといふことを考へねばならぬのであります。部品を造るにはどうするかといふことになると、直ぐに航空機工業と衝突をして来る。そこでこの航空機工業と衝突をしないやうにして部品を造るといふことの考へ方をしない以上は、いくら尻尾の方の問題ばかりやかましく言はれましても仕事は出来ぬ。かういふ所に落着くのであります。

そこで我々の考は部品を造るといふことの爲には自動車部品製造業者をして自動車製造と遊離せしむることなく、今申しました資材の點、勞務の點、價格の點、これが巧く行くといふ様にせしむること

とが第一義でありまして之が爲めには自動車製造工業を重點産業扱にして戴かねば、この問題は解決出来ぬのであります。でありますから閣議に於きまして自動車工業は所謂重點産業に準ずる工業なりこれを一言いふて、さうして直接相當の係官まであゝさうかいなといふ積りになつて仕事をして行かぬ以上は部品製造業者が本當に喰ひ付き得ませぬ。

そこで今度は航空機工業との競合についてはどうするかといふ問題につきましては、自動車工業と航空機工業と競合してゐる所に於きましては、製造の限界を明瞭に分ける。七分は航空機なら航空機三分が自動車なら自動車といふことにする。さうして航空機工業と自動車製造工業の分野を確立して分離することの出来るものは分離し、分離出来ないものがあれば、その比率をはつきり決める。さうすれば自動車工業は航空機工業と違ひまして、相當の訓練を経て居りますから又新な進路を開拓する方法もあります。自動車工業は重要産業なりといふ取扱をせず、又航空機工業との限界或は比率といふものを明瞭にしないで、若しもかういふことをしたならば自動車は商賣上手だから俺の方に喰込んで来る。今この戦をやつて居る最中に俺の方に喰込んで来られては大變だ。だから自動車は重要産業扱ひをしない。だからさういふやうな限界を付けるとか比率を決めないといふやうなことでやつて居れば、どんなにやらうとしても自動車及部品は出来ぬ。それともう一つ近頃流行の自動車工業に對

する企業系列を確定する。大體この三つのことをやることであります。今の三つのことが出来れば、勞務問題も價格問題も自ら急速に解決され行くといふことに自然なつて行くと思ひます。大體そんなやうな工合に私共は見えて居るのであります。その外小さい問題も色々あります。或は輸送といふ面から見ますれば燃料とか、運轉手とかの問題もありますけれども、これはちよつと私の領分外でありますし、餘り長くなりますから一應この邊で終りと致します。

ト、質疑 應 答

高島常務理事 まだいくらか時間がありますので、御質問がございましたらどうぞ。

川上嘉市君 この間讀賣新聞で會合のあつた時にも、この問題で色々話したですが、どうも今の代燃車は故障ばかり起して仕様がなない。このまゝであつたならば萬一空襲でもあつたらどうか。最近ハンブルグが空襲された時に、その後始末に十萬臺の自動車を動員したといふことですが、ハンブルグに比べて人口が四倍もある東京に空襲があつた場合には、恐らく四十萬臺あつても足らぬぢやないかと思ひますが、實際調べて見ると、あなた方のお調べと私の調べた所と殆ど同じであります。現有の自動車の〇分の一しか動いて居りませぬ。私共自分の使つて居る自動車を見ても丁度さうです。

乗用車が三臺ありますが、何時も故障々々で一臺しか動いて居りませぬ。それからその修理費について色々調べて見て居りますが、全國で一億五千萬圓程修理費を使つて居るだらうといふ勘定が出る。鐵道省の運輸局長に聞いて見ましたが、大體私の考と一致して居るやうであります。それだけの修理費を使つても動くならまだ宜しいが、實際動いて居るのは〇分の一、これで若し空襲でもあつて、鐵道は動かない、電車も停電だとなると、頼るのは自動車だけといふことになる。その自動車がかういふ有様では誠に憂慮に堪へない。そこでこれは林さんなどにお願ひしたのであります。實は私共の所で新しい車を買ひまして、以來故障があると、これは修繕工から身を起した人で、今はピストンリングを作つて居りますが、この人は機械の發明家でもあり、私の知つて居る限りは修繕にかけては日本一だと信じて居りますが、この人に費用はいくら掛かつてても完全に修理してくれといふので直して貰つて、もうこれ以上直す所はないと言つても、一週間位で又故障です。このまゝでありましたならば殆ど問題にならぬと思ひます。何となれば故障が續出で、片方で百臺修理しても、片方に千臺も動かぬ車が出るといふ状態では駄目だと思ひます。例へばガスの發生爐が不完全でありまして、燃料は燃料局の方でやつて居るのはコーライト一點張りであります。コーライトを使つて居るのも實際は動かぬ。鐵道省も今は皆木の屑を使つて居ります。私共が木屑を使はしてくれと言つても使はし

てくれぬので直談判に行つて許して貰つたが、或運送業者の如きは一年一回の車の検査の時にはコーライトを使つてゐるやうに車を直して検査を受けて、あとは木屑を使つて居る。それ位にしてやつて居るに拘らず一つの方針を立てない。これでやつて居つたら若し空襲でもあつたら陸上輸送といふものはどうにもならぬ状態になりはしないかと思ひます。

結局何處が悪いかといふと、例へばガスの發生爐、それが非常に違ふものでありますから、その爲にも三分の一位の故障があるのぢやないかと思ひます。私共兎に角自分の持つて居る自動車が動かぬでは仕様がないから、殆ど新しくする位に修繕して居りますが、要するに今の代燃装置といふものは根本的に研究しなければならぬと思ひます。さうして飛行機會社で新しい機種を試作を命じますのと同じやうに、今代燃を作つて居る大會社で、それ／＼自分の最も良いと思ふ設計をして造らせる。さうしてそれを持寄つてこれが最上だといふものを決めまして、その型に移つて行く。さういふこともやればどうにかやつて行けると思ふ。それも急に非常な改造をするものでありますとなか／＼容易ぢやございませんまい。結局今ガソリンで動かせなくなつたとすればこの代燃装置といふものをもう少し眞剣に、大きな自動車會社等で取上げて、これならいゝといふ方法を考へることが根本問題ぢやないかと思ひます。例へばこの代燃はガスの中に埃が入らないやうに何回パイプを掃除しろとか、私共

運轉手にそれを何とか工夫しろと言つても、それを知りませぬ。ピユリフアイヤーは一日に何回掃除すれば故障を起さぬといふやうな、謂はゞ運轉手の操典のやうなものを作つてやつて貰ひたい。かういふやうな話を八田さんに會つた時に話したことがあります。鐵道省では自分の工場で三千八百臺を修理するといふことですが、それは着想はいゝが、その三千八百臺を修理して居る中に、外の何萬臺といふ自動車に故障を起しては問題にならぬ。今日は全部動かなければ間に合はぬのですから、そんな着想は止めて、頭を替へて、ボデーなどは何も良い必要はないから、心臓部の肝腎な所だけ確かにしたものを造つた方が宜しいと思ふといふことを、その時にも進言して置きました。今のまゝの代燃装置でやりましたならば、自動車を澤山造れば造る程故障が多くていかぬ。これは林さんの説であります。林さん御自身も、どんなに修理しても直ぐ故障が起きると言はれますが、これは根本的に代燃装置としてはどういふものが一番良いかといふことの研究、或はもうどうしてもいかぬものならばスチームエンジンに代へてしまつて、蒸氣なら埃も入らぬしから、何とか一つ自動車関係の方々、この問題を眞剣に取上げて戴かぬと、この有様で一旦有事に打つかつたならば途端に參つてしまふのぢやないかと思ひまして、もう一年以上も前からこの問題を心配して居ります。どうか是非何とか御研究を急速におやり下さるやうに願ひ致します。

鈴木自動車統制會長 御意見大變結構であります。これも官廳の話になりますので止めますが、この間漸くさういふ空氣になつた位でありまして、非常に不備であります。

川上嘉市君 燃料も品質不良で、而も不揃ひでありますので、あるものを手當り次第に使ふといふこともあるのであります。修繕についても非常にやかましく言つて、當局でも修繕に全力を盡すといふのであります。やはり自分で直して見た経験がないから、修繕工がどうだ、部品がないのだといふやうなことになか／＼旨く行かぬ。新しいものを取替へても、代燃車でやつて居ると一週間で直ぐ故障で動かなくなる。私共の所でこの間五萬圓も出して買った車が運通省へ一回行つたら故障を起してそのまゝ修理工場へ行つて、これが又なか／＼出来ない。

鈴木自動車統制會長 どうしても閣議決定でもつて、自動車工業は重要なりといふことを決定して貰はぬと、今日の場合に於ける自動車の重要性といふものが下層の官吏まで徹底しないと思ひます。

川上嘉市君 ○千萬圓位の割當は出来はせぬかと思ひますがね。

鈴木自動車統制會長 それがなか／＼して貰へないのです。段々煎じ詰めますと自動車工業の内部にまで入つて來なければならぬので、ちよつと出来ない。それで困るのであります。

川上嘉市君 林さん、今の代燃とかその他の問題については一つ眞剣に考へて戴きたいと思ひます。

(二) 林ディーゼル自動車工業社長の説明

私は以前に兵隊を致して居りました頃にはちよい／＼お邪魔して居りましたが林桂と申します。この大東亞戦争が起つた爲にディーゼル自動車工業、これは前の澁澤正雄さんの石川島系の自動車會社と松方五郎さんの瓦斯電系の自動車會社とが合併しまして、只今ディーゼル自動車工業株式會社といふ名前になりました、軍需會社の指定を受けて居ります。その會社の社長を仰付かつて居ります。

イ、自動車工業の重要性の再認識

私が本日考へて参りましたことは只今鈴木さんが全部具體的に言つてくれました、同じことを繰返すことも如何かと思ひますから、たゞ一言メーカー側として申し上げます、『自動車なんか』といふ聲がこの二年間、世の中を風靡しまして、設備、資材、就中副資材、勞務から公の値段等の關係に涉り經營上相當に苦勞を重ねました。さつきもお話が出ましたやうに自動車は綜合工業であります。私の方で造つて居ります。『いすゞ』といふ商工省の標準型の車に就いて、内輪話を申しますと、原價の數十％といふものは素材及び數百點に亘る部品の加工等のため外に對して拂つて居ります。従つて

社内工賃は僅かな割合になるのであります。さういふ事情の裡に最も大切な協力工場が、此時局の關係で兎角自動車から離れて行く傾が多く。過去二十五年もの間に一緒に貧乏もし、又一緒に大きくもなつて來たやうな向きすらも已むに已まれずして協力關係から離れたのも尠からず。之れは我々の腕や心の足らぬせいもありませうけれども、其離れる原因も一應はつきり致して居ります。即ち其一つは④の制限の問題であつて例へば鍛造一つやつて貰ふのにも、自動車用の部品は兎角、小くて且薄いからロットが壊れ易く、面倒臭いといふのに、これを値段の面まで④で大いに抑ゑ、砲で約一千圓以上は拂へない事情になつて居るのに對し、一方飛行機や船の關係の方は④もないものが多いやうで、そこに下請加工賃に於て甚しきは十倍以上の開きも出來て居ます。元より今時利潤をのみ追及する様な業者は絶対にありませぬが、公平に見て自動車の協力工場でも今の時勢には工業として成立つ程度の賃金が拂へる様にはしてやつて頂きたい。即ち自動車も④の制限を緩和し一噸の鐵の鍛造には二千圓拂はしてくれるなら、我々は随分苦勞もして來た經驗があるから、それなら四千圓拂ふものに對抗して見せるといふのです。

蓋し自動車工業は御案内の如く我國の重工業中では大量生産の方式が比較的早く發達したものでありますから、材料の所要量から各種部品の値段までが無闇に細かにきちんと國から決められて、所謂

原價といふものも細かい所まではつきりして居る。それを基礎にして九一八のとき②を決めた其儘の値段が今日も、大きくは改定されて居ない。それで下請が逃げて飛行機や船作りに走るといふ點が一番の悩みであります。それと同時に下請自身としては其勞務補充の爲め非常の苦勞をして居るのであります。職業指導署に貰いに行つても「自動車なんか」にはなか／＼圓滑には人を呉れない勞務募集の新聞廣告をしたら、今頃自動車なんか勞務の募集廣告をするなんて怪しからぬといふので、官憲からえらく叱られた挿話すらあります。實際これでは親工場としても絶對必要なその協力工場を保護しようにも保護の仕様がありません。

尤もさつき統制會長の言はれた生産の下つた數字は、私の所は別の基礎もありましてそれ程下つては居りませぬけれども、決して生産の一大増強などと言ふことにはなつて居りせぬ。そこで製造の面から申しますと、この際、國家として『自動車なんか』といふ聲を『自動車も』といふ聲にさへ或程度言ひ直してくれれば宜い。さうしてさつきお話のありました様にその聲が各種各級の實施官廳にも行き渡り直して下さればそれで製造の方は一大好轉するのであります。

それから今一つの問題は私共のやうに自動車を造ることを擔當して居る者の苦みよりも、今日では自動車を實際に運輸に使ふ皆さんの方で、所調街の小運送にお困りになつて居るといふのは明かな事

實で、最近に至りこの聲が到る所に擴がり遂に飛行機などを作る側の責任者方からも吾々は餘りにも自動車工業を蠶食し過ぎた結果今となつてはそれが身に戻りて、ハタと小運送に困つた、この際過を改むるに憚る勿れで下請も自動車に返す方法を急ぎ確立せねばならぬとさへ稱え始められたのであります。そこで取敢へず古い車の修繕だけでも急ぐため只今川上さんからもお話がございました通り、確かに修理用部品の問題も起りますが、是れ亦、この間官報で決つた値段では未だ必ずしも充分とは申されぬ。そこにある程度餘裕をみれば何も理窟を言はぬでも後とは資材さへ與へれば市井の小工場で部品は出來ます。蓋し資材の問題になると元は部品用の資材は削代から二割三割のものは取れたものです。今はそれが三ミリ五ミリといふことになつて來たので、さういふことから部品が出來にくいことになつてゐます。その外にも色々問題がありますが、要するに値段に相當ユトリを與へればその内には修理部作りの資材も物動に組まれて市井に修理用部品が出來ることだらうと思ひます。

ロ、自動車用燃料の問題

町の自動車の稼働率を上げるため第二の問題は言ふ迄もなく燃料の問題であります。併し今日ガソリンが町に出で難いことはどなたも御承知の通りであります。然る上は只今の御説にもありました通

り代用燃料の種類制限などは一大緩和して何でも手當り次第使はせる様にする外仕様が無い。これ等こそは餘り四角四面に統制を言ひ過ぎない方がお國の爲めだと思ひます。さうしてあとは蒸氣で走るやうな車を作ることも考へられます。それは五十年ばかり前にそんなものが流行したことがあるさうであります。取敢へず瓦斯發生と言ふ今日の方式の範圍でも私共の仲間の方が言ふのに、今の代燃車は自動車一臺に一個宛の瓦斯發生工場を持つて走るのであるが、この發生爐用の鐵量を取まらめて、大規模に瓦斯を作りそれをポンペーで運んだ方がすつとエンジンも傷まないが、たゞそのポンペーがない。それから、瓦斯の淨過機の問題があります。あれをもう少し高級なものに作ればエンジンの壽命も長くなるといふやうなことがあるかも知れませぬが、これは眞面目に研究されて居ます。併し私は何と申しましても技術のことは素人でありますからこれ位にして置きます。あとは大町君から何か話があるかも知れませぬ。

(三) 大町帝國自動車工業社長の説明

私は車體を専門にやつて居ります—ボデー・メーカーと申しますか—帝國自動車の大町であります。鈴木閣下、林閣下から色々御意見が出ましたから、私は自分の考へて居りますことの結論だけを簡單

に申し上げます。

イ、自動車行政一元化の必要

それは自動車のことについては只今は方々の官廳で扱つて居りますが、これを一元的に扱ふやうにして戴きたい。例へば内閣直屬の機關—假に自動車院とでも名付けますか—が出来まして、一元的に自動車の問題を取扱ふやうにしなければ、自動車問題の解決は出来ないといふ持論であります。只今では軍需省ばかりでなく陸海軍或は運通省、或は農商省、内務省まで自動車工業に關係が有りました。先程川上さんからお話の出ました燃料問題にしても各方面に姑が多い爲に話が通らない例が多々あるのであります。これは卑見ではありますが、先程から色々お話が出ましたやうに自動車工業といふものを重要産業に準じたものにして戴く。當局からさういふ聲明をして戴くと同時に、自動車院といふ—強力な機關で一元的に扱つて下さいまして、その總裁が命令をして下されば自動車の問題に關しては直に實行に移すことが出来るといふやうな役所の出来まことを豫ね／＼希望致して居ります。

ロ、自動車工業強化の途

ドイツあたりの例を見ましても統制經濟に入る前に相當數の自動車を整備したのであります。所

謂自動車の完全なる整備なくして完全なる統制経済はないといふことを言つて居るのでありますが、日本では、全く逆でありまして先程林閣下からお話がありました、私共は今年の新しい國民學校卒業生を探りたいと考へて居りましたのに當初非常に悲觀的でありました。原因を調べて見ますと國民學校の校長が卒業生に對して、お前達日本人なら航空機工場か造船工場へ行けと言ひまして、自動車工場へ行けといふことは言はなかつた。つまり自動車工場などへ行くといふことは日本人でないといふ風に解釋したのであります。その爲に林閣下の所ばかりでなく自動車工業界全體に勞務員募集の上に非常に大きな影響を受けたといふ例さへあるのであります。この點は繰返して申しますが是非當局から自動車工業は重要産業だといふことを一聲掛けて戴きたいと思ふのであります。私の方は専ら車體の架装であります、從來はボーデー・メーカーは町工場主義でありまして、企業的な大量生産の方式を採つて居らなかつたのであります。月に十臺或は二十臺位作るメーカーが多く、謂はゞ生活費がそのまゝ原價計算に入るやうな所が多かつたのであります。私の關係しました昭和十三年頃には京濱間に於て同業者が百二十五社あつたといふことでも分ると思ひます。それが現在では整備統合されて全國で〇〇社になつて居ります。また整備の餘地があるやうに思はれます。從來シャシー工業の從屬的な存在として車體業が扱はれて居りましたが、最近色々各方面の御認識を得まして、シ

ヤシー工業の重要な協力工業であるといふやうな意味に取られて參りました。従つて先程から色々御話がありました如く從來はシャシー工業が先に進んでも車體或は部品、修理工業が伴はないといふことが、少くとも車體に關する限り段々追ひ付いて居るのであります、目下の輸送關係に致しまして大量生産を以てすれば相當數量の完成車が出來、小運送の隘路も打開出來得るといふ自信がございます。現に大東亞戰爭勃發前に於きましては相當の數量を出したといふ記録も持つて居るのであります。こんなことで自動車工業といふものが非常に遅れたといふ原因の中には、只今申しました車體部品、修理がこれに伴はなかつたといふ事實があることをはつきり申し上げられると思ひます。最近公定値段も決まりました、只今日産或はトヨタの新車を一臺買ひますには僅か八千六百五圓といふ最終公定價格が出て居ります。これに比較して一臺の貨車が巷間に於ては數萬圓で賣買されて居るといふことも聞いて居ります。これも御一考を願ひたいと思ひます。私の會社では現在特殊車製作に重點を置いて居りまして大衆車、所謂トラック類は極く僅かでありまして、將來はこの方面にも大いに力を入れる豫定で居ります。特殊車と申しましても随分需要が御座いまして、航空機一臺に對して自動車が最少限五臺要るといふことも常識になつて居ります。かういふことも段々と認識されまして稍々我々の要求が通る所まで來て居るのであります。どうか最初に申し上げました自動車院の如き強力機關が一

日も早く設立されまして、自動車に關することは何でも其處で決まるといふ風に、これからの方向を向けて戴きたいといふことをお願ひ申上げたいのであります。

ハ、質 疑 應 答

高島常務理事 今軍需省では自動車關係はありませぬか。

大町帝國自動車工業社長 動力機械課、器材課といふ方に關係があります。

高島常務理事 航空機が殖えれば自動車も當然殖えなければならぬといふ譯です。

大町帝國自動車工業社長 さうです。最近航空機關係から自動車を整備してくれといふ聲が大分出て居ります。

林子一ゼル自動車工業社長 私の所は隣近所に造船工場や飛行機工場などが色々ありますので、非常に勞務問題の上で困つて居ります。なんぼ激勵しても三日か四日、いくら演説なんかで激勵しても長續きしない。物資の配給などは隣近所の工場はいゝが、私の所には何もない。演説しても三日保たぬ。四日目位に隣近所でビール一本づゝ配給されるともうどうにもなりません。

高島常務理事 色々有難う御座いました、豫定の時間が來ましたので今日はこれで散會致します。

昭和十九年七月十五日印刷
昭和十九年七月二十日發行

(非賣品)

編輯兼 能 美 一 夫
發行者

發行所 東京都麴町區丸ノ内一丁目二番地
日本經濟聯盟會

電話九ノ内 三三三・三三三
三三三・三三三
三三三・三三三

印刷者 東京都京橋區木挽町二丁目一番地
岩 崎 勝 一

電話京橋(56)一八六一番
(東京)三三七六

印刷所 東京都京橋區木挽町二丁目一番地
工業日日新聞社印刷部

日も早く設立されて、自動車に關することは何でも其處で決まるといふ風に、これからの方向を向けて戴きたいといふことをお願い申し上げたいのであります。

ハ、質疑 應答

高島常務理事 今軍需省では自動車關係はありませぬか。

大町帝國自動車工業社長 動力機械課、器材課といふ方に關係があります。

高島常務理事 航空機が殖えれば自動車も當然殖えなければならぬといふ譯です。

大町帝國自動車工業社長 さうです。最近航空機關係から自動車を整備してくれといふ聲が大分出て居ります。

林チーゼル自動車工業社長 私の所は隣近所に造船工場や飛行機工場などが色々ありますので、非常に勞務問題の上で困つて居ります。なんぼ激勵しても三日か四日、いくら演説なんかで激勵しても長續きしない。物資の配給などは隣近所の工場はいゝが、私の所には何もない。演説しても三日保たぬ。四日目に隣近所でビール一本づゝ配給されるともうどうにもなりません。

高島常務理事 色々有難う御座いました、豫定の時間が來ましたので今日はこれで散會致します。

製本控

同第 號

967	冊	400	號	年	月	日
書名	現下輸送問題より觀たる自動車工業					
著者	の現況 鈴木重康等					
著者	鈴木重康等					
受入	19年 8月 15日					
備考	冊					

967
E
400

967
400

終